

科目名	国語					開講 キャンパス	神園
担当者	金久 慎一						
開講年次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必修 (3、4年) 選択 (1、2年)
授業の概要 及びねらい	国語科における基礎的・基本的な内容について理解を深めさせるとともに、実生活における言語活用力を高めるための学習法を獲得できるようにする。具体的には、「読むこと」・「書くこと」・「話す・聞くこと」等の領域に関わる内容や、書写実践指導などを通して生活言語化を図ることの意識化と重要性の認識へと導くようにする。						
授 業 の 到達目標	1) 実際に作文を書くことを通して、自分の思いを正しく伝え、読み手に理解してもらうためには論理的な文章にすることが大切であることに気付くことができる。 2) 説明文を読み、筆者の論理を把握するための構想図を作成するとともに、それを活用して論理的文章を書くことができる。 3) 児童の詩・作文・日記等を読んだり、内容に共感したりしながら、自分なりの考えを評語としてまとめることができる。 4) ディベートを開き、相手を説得するための論理を構築するためには、多様な観点から考えを深めることの大切さを感じ得ることができる。 5) 音読・朗読をし、相手の心に届くような読み方はどうあればよいのかを考え、実践できる。 6) 心を落ち着け、文字の筆順を考えたり形を整えたりして毛筆書写をすることができる。						
学習方法	講義 演習						
テキスト及び参考書等	金久慎一著『わたしが主人公』（昇文印刷）						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			60		
小テスト等							
宿題・授業外レポート		○					
授業態度			○		10		
受講者の発表			○		10		
授業への参加度			○		20		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション (国語学習への取り組みについて)						
第 2 週	紹介作文を書き、作文が相手に伝わるための配慮事項について考え合う。。						
第 3 週	モデル作文を読み、筆者の論理認識について話し合うとともに、作品構想図にまとめる。						
第 4 週	伝えたい相手を想定した構想図を作成し、紹介作文を書く。						
第 5 週	「わたしが主人公」内の児童の詩、作文、日記等を読み、発達段階に応じた児童の表現について考え合う。						
第 6 週	「わたしが主人公」内の児童作品の中から一つの作品を選び、評価観点に沿って、評語を書く。						
第 7 週	テーマごとにグループを決め、ディベートの準備を行う。						
第 8 週	立論、賛成、反対など、ルールに従ってディベートを行う。						
第 9 週	聞き手を想定して音読・朗読・群読を行い、作品に流れているリズムを体感する。						
第 10 週	正しい筆の持ち方をし、正しい筆順で毛筆書写をする。						
第 11 週	姿勢・筆づかい・点画に注意して毛筆書写をする。						
第 12 週	字形と用紙による文字の大きさに気を付けて毛筆書写をする。						
第 13 週	配置・配列を意識して毛筆書写をする。						
第 14 週	学習したことを生かして、まとめの書写する。						
第 15 週	まとめ (レポートテストを含む)						
第 16 週							
備 考	授業前にはそれまで学習した内容を振り返り、本時学習で学ぶべき内容の確認をしておくこと。授業後は、記録ノートをもとに、理解できた内容を確認すること。						